

第49回

港北区民剣道大会

日時
場所

令和5年10月7日(土)
横浜市立日吉台中学校 体育館

主催
後援

港北区スポーツ協会
港北区役所・港北区剣道連盟

種目別参加人数

	部 別	参加人数・チーム
1	小学1・2年の部	15
2	小学3年の部	22
3	小学4年の部	20
4	小学5年の部	20
5	小学6年の部	10
6	中学男子の部	27
7	中学女子の部	26
8	一般男子団体の部	15チーム
9	一般女子団体の部	9チーム

○試合規則及び試合方法について

全日本剣道連盟「剣道試合審判規則並びに同細則」、及び港北区剣道連盟「感染拡大予防ガイドライン」、ならびに大会申し合せ事項による。

<試合方法>全部門「場外反則はあり」とする。

- ・ 個人戦の準決勝以上は勝敗の決しない場合、時間無制限延長戦一本勝負とする。

①小学生の部（個人戦）

- ・ 試合時間は2分3本勝負。勝敗の決しない場合は1分間延長の上、判定とする。

②中学生の部（個人戦）

- ・ 試合時間は3分3本勝負。勝敗の決しない場合は1分間延長の上、判定とする。

③一般の部（団体戦）

- ・ 試合時間は3分3本勝負。勝敗の決しない場合は引き分けとする。
- ・ 勝者数法により勝敗を決定する。勝者数・取得総本数が同数の場合は、任意の代表者により、3分1本勝負を行い、勝敗の決しない場合、時間無制限延長戦1本勝負とする。

○大会表彰について

優勝 1賞 準優勝 1賞
3位 2賞 (小学6年の部のみ3位無し)

大会次第

1	開	会	の	こ	と	ば		
2	会	長	あ	い	さ	つ	(第二時間帯省略)	
3	審	判	長	注	意			
4	選	手	宣	誓			(第二時間帯省略)	
			阿部 遙輝 (自彊館武道場)					
5	個	人	試	合				
6	団	体	試	合				
7	成	績	発	表				
8	講			評				
9	閉	会	の	こ	と	ば		

* 7:30 審判員・会場係員 集合

	時間	対象	試合会場
第一 時間帯	開門：8:00 受付：8:30 開始予定：9:00 終了見込：11:00	小学1年・2年	当日案内
		小学3年	第一会場
		小学4年	第二会場
		小学5年	第三会場
		小学6年	当日案内
第二 時間帯	受付：10:30～ 開始予定：11:00 終了見込：13:00	中学男子	第一・三会場
		中学女子	第二・四会場
第三 時間帯	受付：12:30～ 開始予定：13:30 終了見込：16:00	一般女子団体	第一・三会場
		一般男子団体	第二・四会場
控室	男子控室(兼更衣室):ミーティング室(体育館1階) 女子控室(兼更衣室):格技場(板場側) ・受付・入場前の控室として利用し、試合時間になりましたら荷物保管場所として利用ください。 (試合会場に荷物は持参出来ません) ・荷物は支部ごとに一カ所にまとめて保管してください。 ・貴重品は各自で責任を持って管理してください。 ・女子控室(格技場)の畳の上には物を載せないでください。		

大会役員

		敬称略
大会名誉会長	港北区剣道連盟相談役	金平星 子田純 元邦昭 二昭一
大会会長	港北区剣道連盟会長	鴨田憲二
大会副会長	港北区剣道連盟副会長	齋藤達雄
大会顧問	神奈川県剣道連盟会長	小林英雄
	横浜市剣道連盟会長	吉續干城
大会委員長	港北区剣道連盟理事長	鈴木守
大会副委員長	港北区剣道連盟大会部長	橋本和宏
大会事務局	運営 荻原博進行 猪狩伸也 総務	根崎耕一
	会計 齋藤達雄記録 江藤聖弓 救護	金子真里
受警	付自 彊館武道場 備下 田 剣友会	

○剣道の理念

剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である

○剣道修練の心構え

剣道を正しく真剣に学び 心身を錬磨して

旺盛なる気力を養い

剣道の特性を通じて

礼節を尊び 信義を重んじ

誠を尽くして 常に自己の修養に努め

以って国家社会を愛して 広く人類の平和繁栄に

寄与せんとするものである

競 技 役 員

会場係	第 1 会 場	誠	義	友	会
	第 2 会 場	都 筑 茅	ヶ 崎	剣	会
	第 3 会 場	山	王	体	館
	第 4 会 場	師	岡	剣	友

審判長 大芝 信雄 (教士八段：慶應理工)

審判員

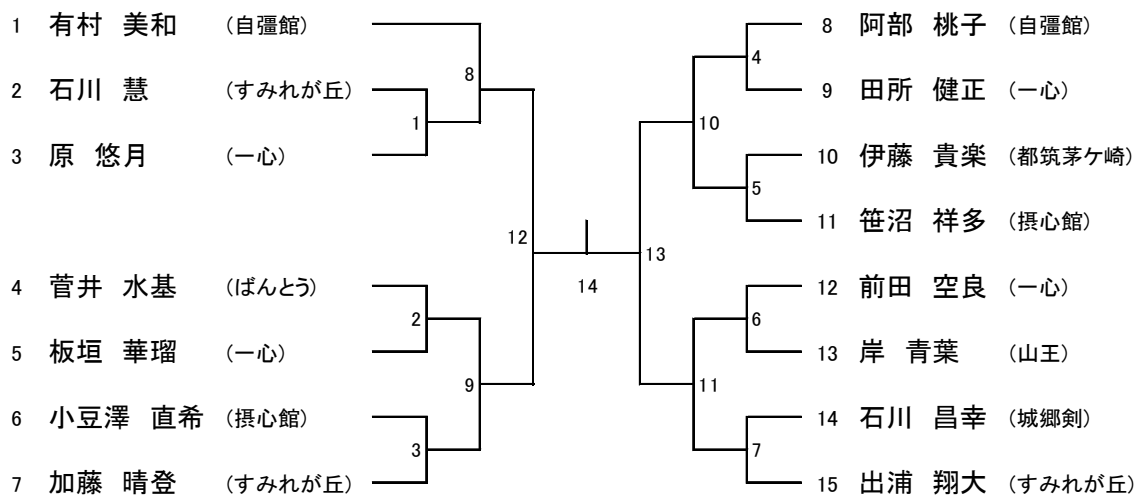
会場	主任	氏 名	支 部	称 号 ・ 段 位
第一会場	◎	加瀬 英樹	山王体育館	教 七
		浜辺 克治	慶應理工	教 七
		中島 宏晃	自 彊 館	錬 七
		藤崎 顕治	一 心	錬 六
		菊地 研	城 郷 剣	錬 六
		工藤 雅史	一 心	錬 六
		荒巻 拓也	山王体育館	六
	服部 知志	ばんとう	五	
第二会場	◎	田中 陽介	山王体育館	教 七
		安藤 滋	自 彊 館	錬 七
		荻原 博	誠 義 会	錬 七
		関 康文	摂 心 館	錬 六
		荒井 正則	城 郷 剣	錬 六
		栗原 将人	慶應理工	五
	堂免 敬一	すみれが丘	五	
第三会場	◎	加藤 美恵子	美 剣 会	教 七
		宮田 一智	山王体育館	教 七
		松岡 伸一	すみれが丘	錬 七
		横井 康秀	師岡剣友会	錬 六
		野田 恭造	摂 心 館	六
		加藤 智也	城 郷 剣	五
	阿部 太郎	自 彊 館	五	
第四会場	◎	滑川 康一	自 彊 館	教 七
		舘太 允行	山王体育館	錬 七
		中尾 歩	慶應理工	錬 七
		菊池 誠二	誠 義 会	錬 六
		山野 祐一	すみれが丘	六
		菽生 田純	ばんとう	六
	石森 訓美	城 郷 剣	四	

港北区民剣道大会 成績一覧表

第四十六回大会		第四十七回大会		第四十八回大会	
平成30年度優勝者		令和元年度優勝者		令和四年度優勝者	
小1・2	小浦駿ノ介 (自彊館)	小1・2	長谷川 鎌 (港北少年)	小1・2	杉澤 颯介 (師岡剣友会)
小 3	荒巻 遥斗 (山王体育館)	小 3	小浦駿ノ介 (自彊館)	小 3	山田康太郎 (師岡剣友会)
小 4	森 慎之助 (自彊館)	小 4	小林 直央 (自彊館)	小 4	大友 颯太 (山王体育館)
小 5	黒岩 玲音 (自彊館)	小 5	池田 隼斗 (山王体育館)	小 5	阿部 遙輝 (自彊館)
小 6	大畠 啓資 (師岡剣友会)	小 6	桑名 清純 (すみれが丘)	小 6	小浦駿ノ介 (自彊館)
中1男	宮川 虹典 (港北少年)	中1男	大畠 啓資 (師岡剣友会)	中学男	森 慎之助 (自彊館)
中2男	石川 碧惟 (摂心館)	中2・3男	萩原 正樹 (港北少年)		
中3男	大高 夏輝 (自彊館)				
中1女	田中有 瑠々 (師岡剣友会)	中1女	福清 青南 (都筑茅ヶ崎)	中学女	山下 杏奈 (下田中)
中2・3女	青沼 空来 (自彊館)	中2女	松井 はな (一心剣友会)		
高・一般女 団体の部	すみれが丘	高・一般女 団体の部	すみれが丘	高・一般女	稲垣 真帆 (すみれが丘)
高・一般男 団体の部	港北少年	高・一般男 団体の部	山王体育館	高・一般男子 35歳未満	楠 拓也 (山王体育館)
				一般男子 35歳以上	佐藤 隆祐 (山王体育館)

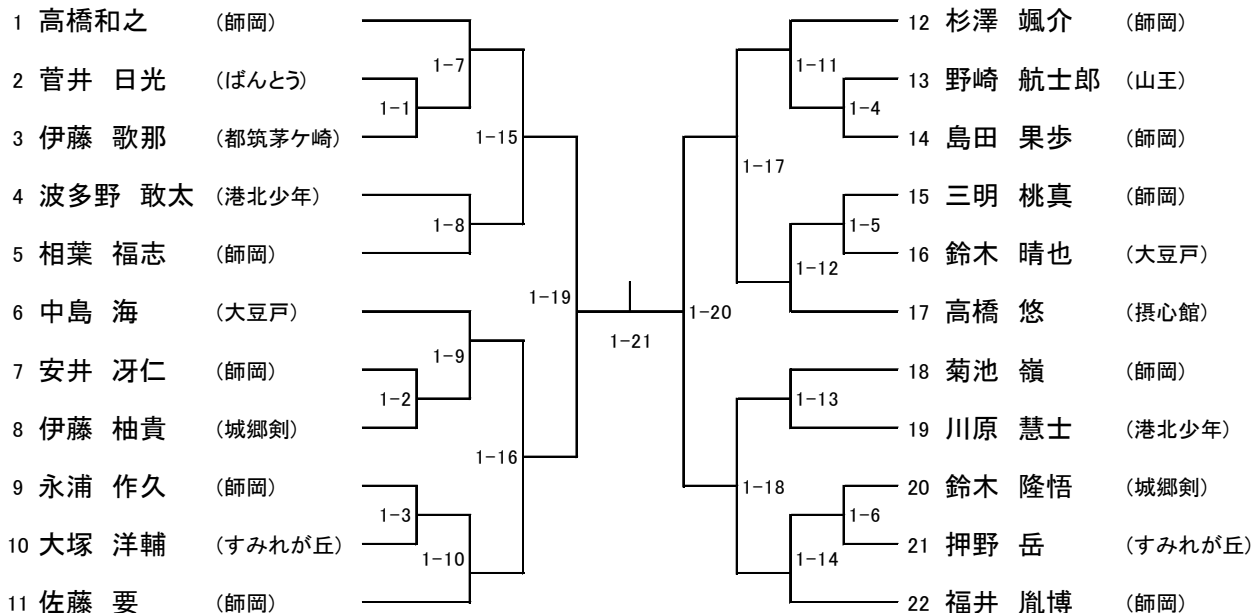
<第一時間帯>

小学1・2年生

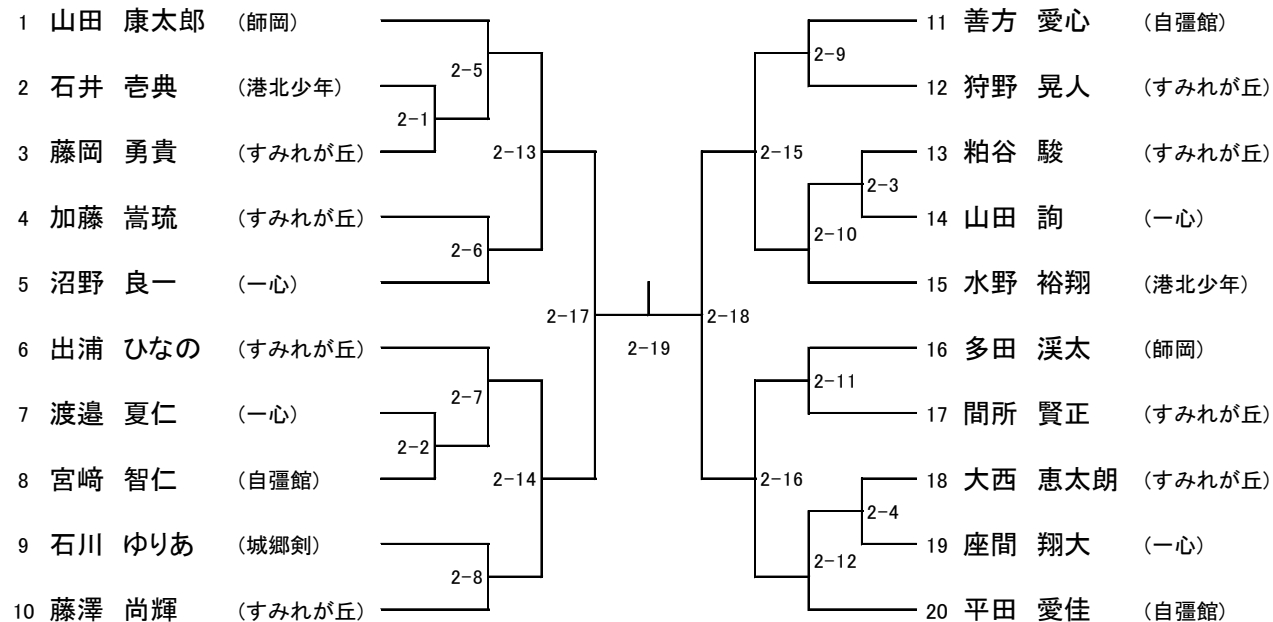


<第一時間帯>

小学3年生

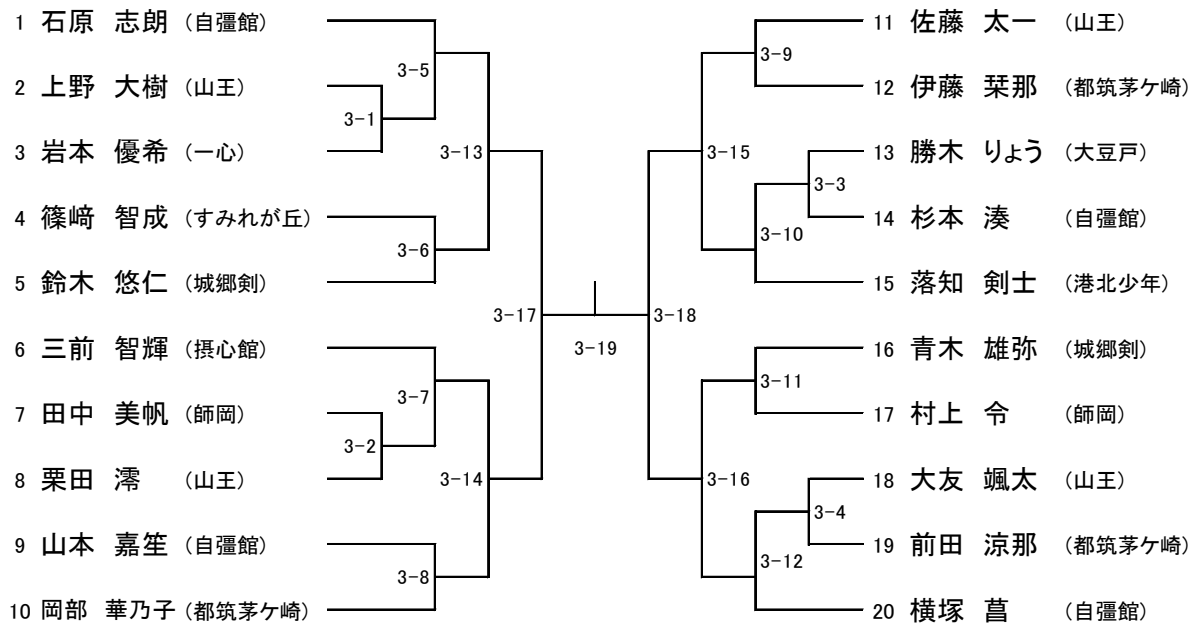


小学4年生

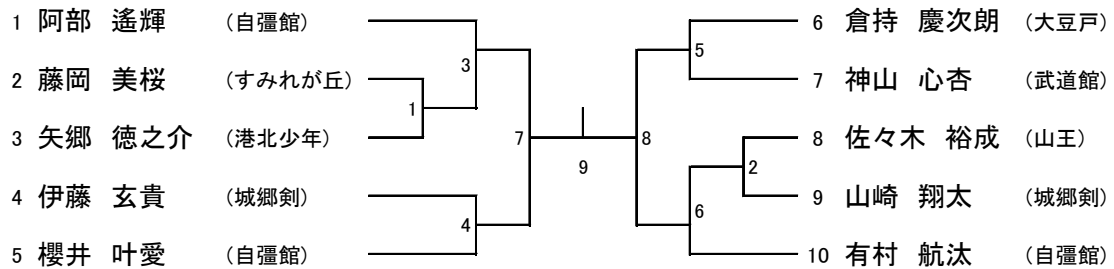


<第一時間帯>

小学5年生

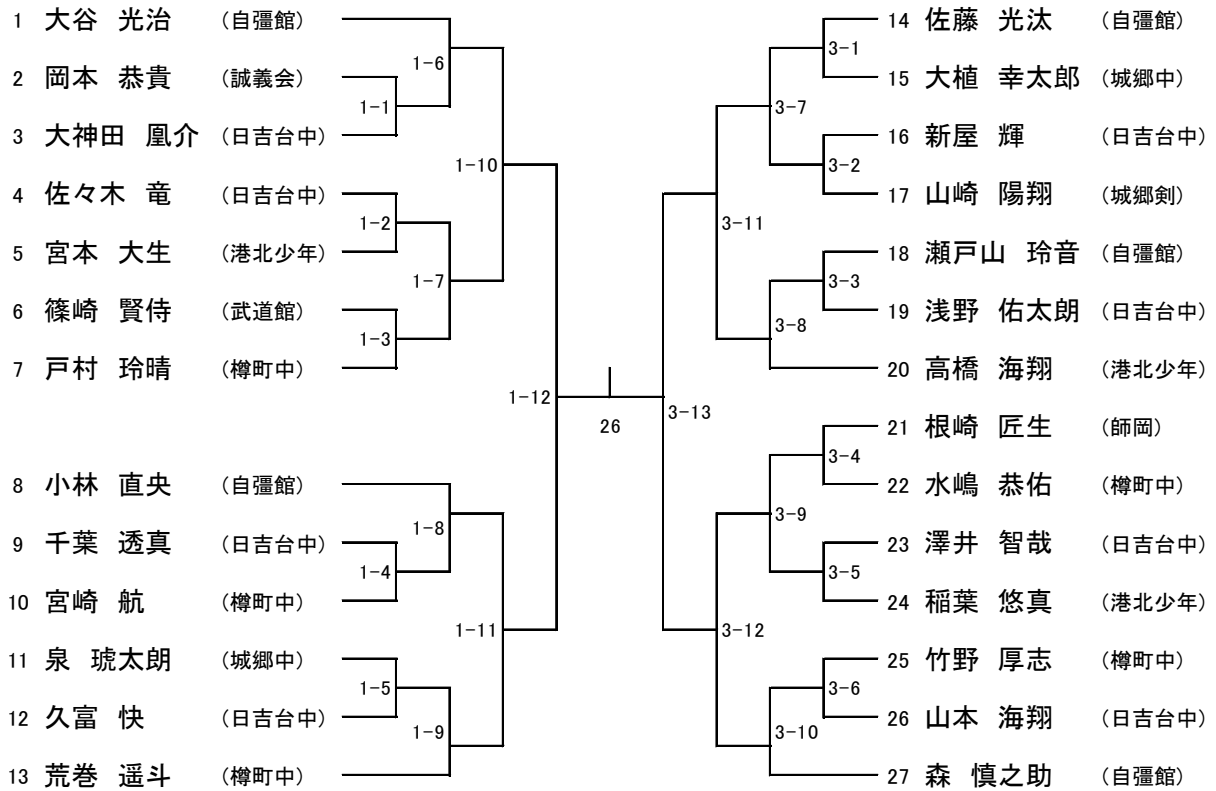


小学6年生



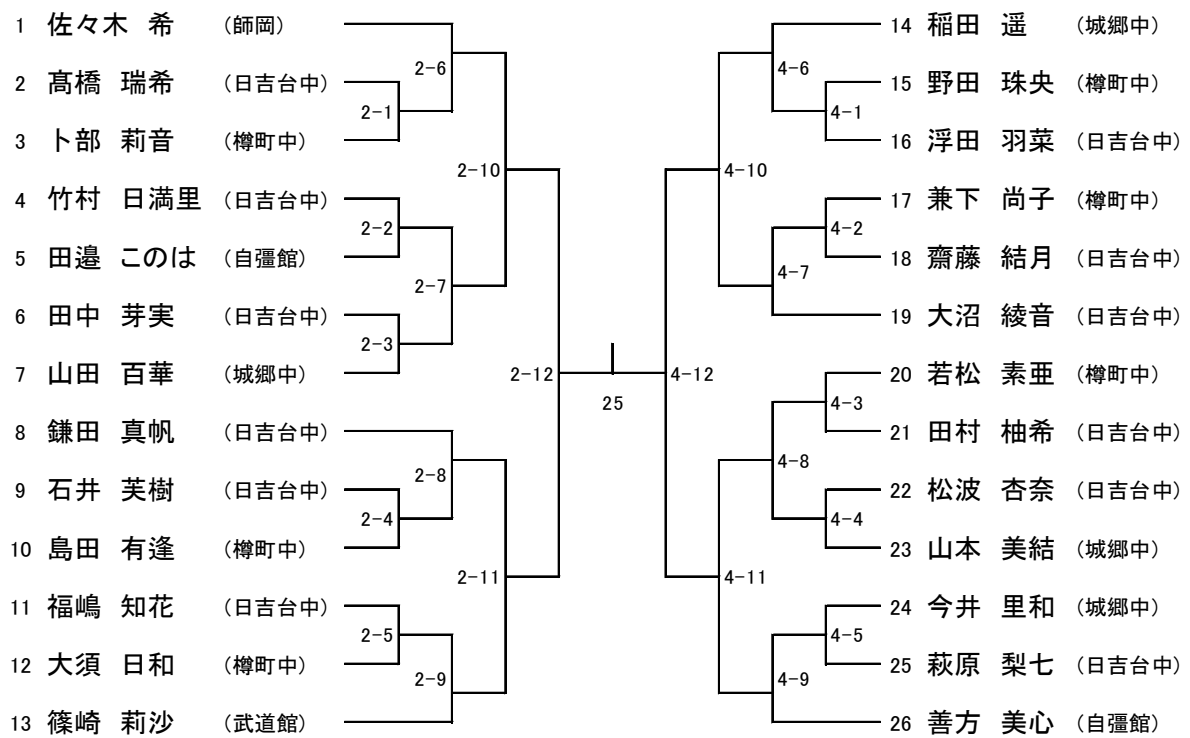
<第二時間帯>

中学男子



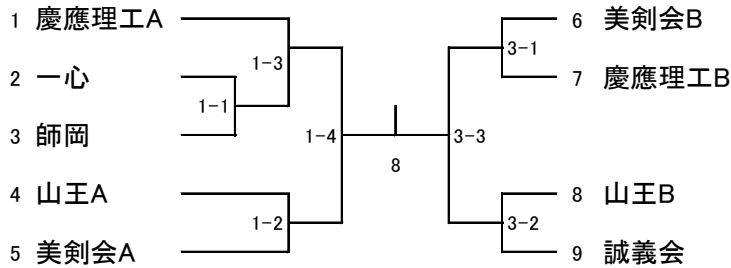
<第二時間帯>

中学女子



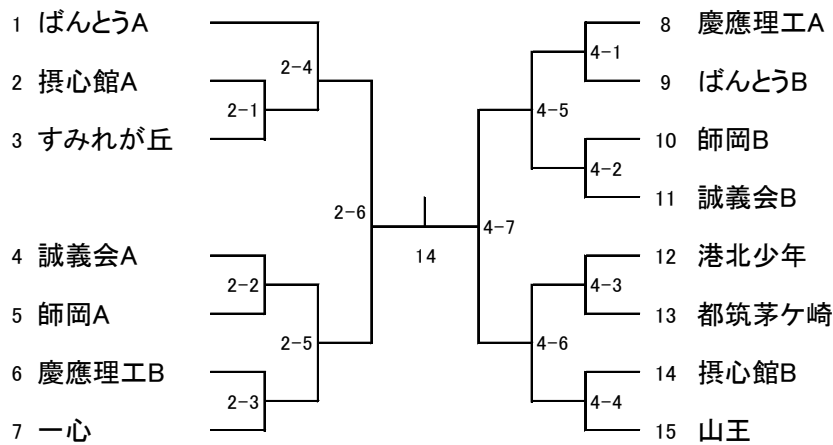
<第三時間帯>

一般女子団体



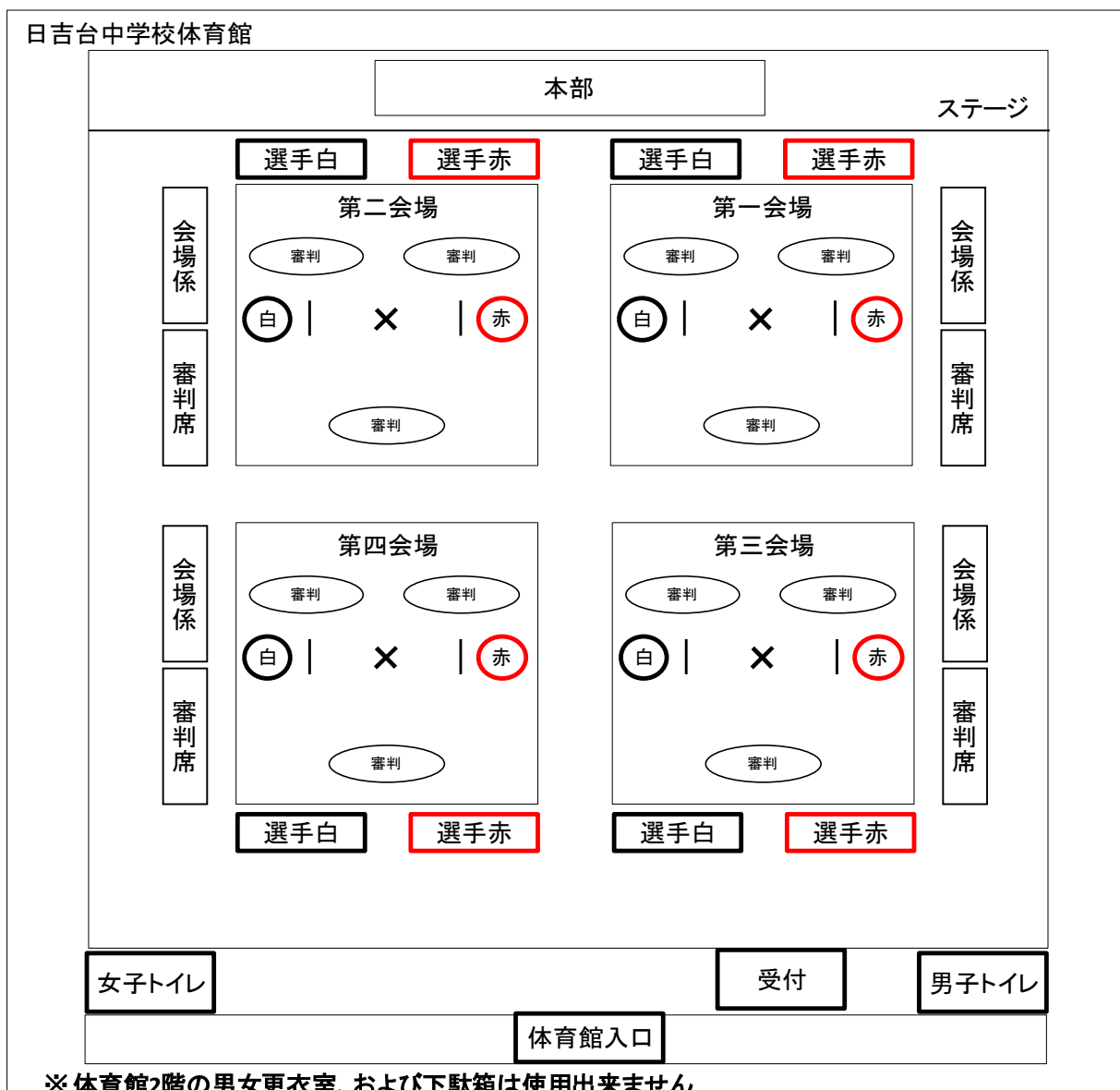
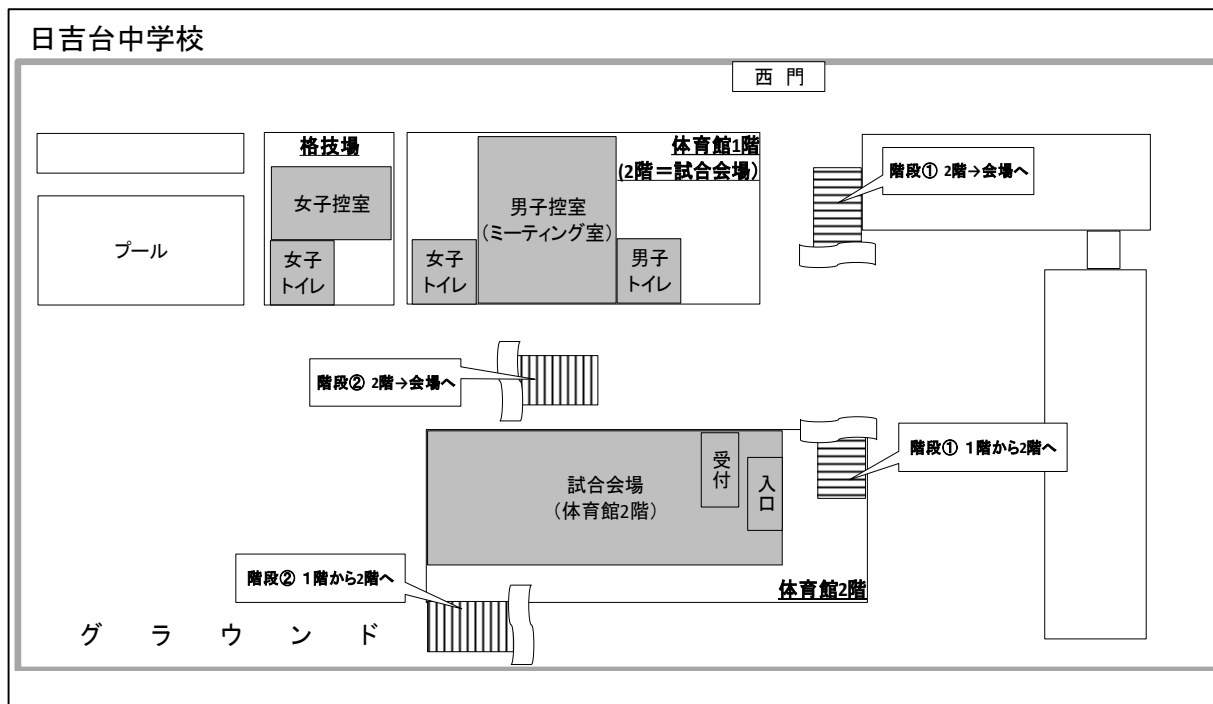
No	チーム	先鋒	中堅	大将
1	師岡	千葉明子	阿部乃愛	浦沼奈々
2	一心	牧野みどり	仮谷裕子	櫻井ひとみ
3	山王A	中井優里	瀬戸桂子	濱町まみ子
4	山王B	青木祐子	塚田千代美	藤山知加子
5	慶應理工A	福田華子	延平七歩	澤村仁美
6	慶應理工B	堀内歩乃花	森田結月	岸あおい
7	誠義会	岡本由紀子	中村美保	波玉喜美子
8	美剣会A	菊地いぶき	遠藤菜穂美	岩田美代
9	美剣会B	三浦あかね	伊藤陽子	池田千絵

一般男子団体



No	チーム	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将
1	師岡A	大島啓資	関高太郎	横井魁秀	大島康誠	田中龍馬
2	師岡B	西田一二	西潟和成	長澤直之	田中健一朗	吉野議章
3	一心	中山博道	日吉武士	渡邊高寛	工藤雅史	藤崎顕治
4	港北少年	萩原正樹	小田切祥瑛	小田切耀平	片桐俊	桐生亮太
5	山王	橋本直樹	橋本信行	指宿哲也	猪狩俊貴	楠拓也
6	ばんとうA	峰守慶	小野将	渡邊望	岸本拓真	佐々木唯人
7	ばんとうB	久能大樹	井田準人	安島真也	亀田健介	原愛斗
8	慶應理工A	茅野淳之介	山崎雄介	白石大知	亀山陸	兒玉崇勢
9	慶應理工B	有馬琳太郎	近藤祥太郎	臼井涼介	畠野天稀	金子修
10	摂心館A	信田啓介	海陸有輔	高橋伸明	竹嶋広明	小林浩一郎
11	摂心館B	久保寺亮太	肥土大毅	関川広樹	佐々木康夫	山下隆敏
12	すみれが丘	藤岡正晃	大塚陵	荒井隆之	織茂雅浩	間所藤孝
13	誠義会A	金子直樹	國井裕太郎	小林孝明	中村光延	桂川祥
14	誠義会B	飯田潔	岡本恭貴	藤田敦	二木高志	伊東友弘
15	都筑茅ヶ崎	大野豪剛	福清泰葉	土屋昴太	福清明司	宮尾拓朗

会場案内図



※ 体育館2階の男女更衣室、および下駄箱は使用出来ません

竹刀点検の徹底について

本連盟では、平成31年4月1日に、竹刀及び剣道具の安全性や公平性の面から、剣道試合・審判規則の改正を行い、大会時に限らず剣道人の皆様には改正趣旨に鑑み、日ごろから、より安全で公平な竹刀の使用を呼びかけてまいりましたが、昨今、「竹刀の破損による眼外傷」の重大事故の報告が届きました。

この重大事故の発生は、竹刀の点検・手入れの不備が大きな要因であると考えられます。

今後は、関連のある専門委員会ならびに全日本武道具協同組合などとの連携を図り、更なる原因究明と再発防止策の検討を始めるとともに、『竹刀及び剣道具規格』の見直し、改訂も視野に入れて進めていく所存です。

現状として、剣道試合・審判規則に明記されている「竹刀の基準（長さ、重さ、太さなど）」の遵守に加え、ちくとうの破損・ささくれ、付属品の破損・緩み、中結の位置（全長の約1/4）などの徹底した点検を使用前、使用中、使用后と頻繁に行うようお願いいたします。

特に冬から春先にかけて、日本は乾燥している季節でもあり、竹刀が傷みやすくなっております。点検の際には付属品を解いてちくとうの内側の割れや虫食いなどをしっかりと確認し、念入りの手入れを心掛けるよう切にお願いたします。

幾度となく使用した竹刀は、打突部付近に負荷が一定期間集中し、反りや歪みが生じていることがあります。一度、反りや歪みが生じたちくとうのピースは、元に戻したように見えても一定の強度が保たれない可能性があります。安易に竹刀の上下（刀でいう棟と刃部）を逆に回したり、ちくとうのピースを組み替えたりすると大変危険です。ご注意ください。

大会参加者の皆様へお願い

下記注意事項について、事務局よりお願い申し上げます。

1. 会場は全員マスク着用を推奨します。また体温が37.5度以上ある方は入場できません。
2. 会場および会場周辺は駐車・駐輪禁止です。路上駐車・駐輪厳禁です。
3. ビン、カン等は持ち込み禁止、又ゴミは必ず各自で持ち帰り下さい。
4. 当日の事故については主催者におきまして、応急処置をしますが、それ以降は本人の責任において処理をして下さい。
5. 席取りや場所取りは禁止とさせていただきます。
6. お帰りの際はくれぐれも忘れ物をしないようお願いいたします。
7. 各時間帯の参加者は指示があるまで入場できません。控室で待機してください。
8. 会場施設内は水分補給以外の飲食はできません。
9. 貴重品は各自で責任をもって管理してください。
10. その他詳細は「港北区民剣道大会に参加される方へのお願い」をご参照ください。

港北区民剣道大会に参加される方へのお願い

以下の注意事項を確認して本大会にご参加をお願いします。

1. 事前準備

- 本大会は安全対策として各会場にて竹刀点検を実施します。選手は事前に竹刀（先皮の破損、中結の緩み、つるの緩み、竹刀のささくれ等）の確認をして2本以上持参して下さい。
- 審判員の服装は半袖・ノーネクタイとします。
- 本大会より「健康チェックリスト」は不要となりますが、大会当日に自宅にて検温を行い、37.5℃以上の方は参加不可とします。
- 体育館には靴置き場がありませんので、各自靴用のビニール袋の持参をお願いします。

2. 集合時間と集合場所について

- 係員・審判員・役員：日吉台中学校体育館に7：30とする。
- 選手・付き添い：日吉台中学校西口門に8：30とする。（警備係の指示に従って入場）

3. 入場時

- (ア)各支部の代表は、会場入口の受付にて欠席者の有無のご連絡をお願いします。
- (イ)男子更衣室は体育館1階の専用スペース、女子更衣室は格技場となります。
- (ウ)支部ごとで剣道防具・荷物の保管をお願いします。安全対策として更衣室・格技場での稽古・素振り等は禁止とします。

4. 会場内・試合時

- (ア)会場内では選手・付き添いの方はマスクの着用を推奨します。
- (イ)試合時には面マスクまたは、シールドを着用（シールド着用の場合には、シールド下部に飛沫防止用のスポンジを着用）してください。
- (ウ)審判員は試合中マスクを着用しない。ただし控室・会場内ではマスクの着用を推奨します。
- (エ)試合中の声を出す応援は禁止とします。
- (オ)団体戦に限り試合当日体調不良で参加できない選手のポジションに、補欠選手の参加を認めます。各会場の審判員に申し出をしてください。
- (カ)会場内での食事は禁止とし、水分補給のみとなります。

5. 試合終了後

- (ア)会場内での着替えは原則禁止とします。
- (イ)試合終了後は忘れ物がないよう確認し、すみやかに退場してください。